

地方行政を明朗・元気にする首長の存在 ——住民の代表たる議員も活躍の機会がありそう

一般社団法人 光楓座
一般社団法人 e f c o . j p

代表理事 佐藤建吉

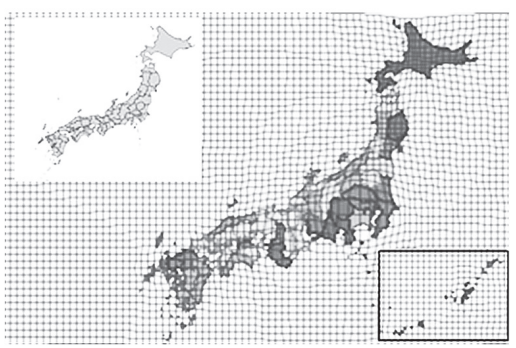
▼ゲティスバーグ演説

この原稿を書いている11月19日は、1863年、いまから154年前に、アメリカのゲティスバーグの戦場において、第16代アメリカ合衆国大統領のエブラハム・リンカーンが有名な「ゲティスバーグ演説」を行った日である。

ゲティスバーグ演説については、本連載コラムの第1回「序」このコラムが伝えることでも述べた。筆者は、その戦場の地を、今年の元旦に訪ねた。それは、高校2年の英語の授業で、この演説を教わって以来、50年を経て実現した聖地巡礼であった。

▼時代を先取りした いすみ市の取り組み

今回の視察では、まず、いすみ市長の太田洋氏と面会し、最近の地元で取り組みについて意見交換した。副市長ほか3名の課長も同席した。フィルムコミッション活動で好影響が現れ、ある和風食堂が人気であるという。昼食もその食堂で頂く。昼食もその食堂で頂く。町議員からは、職業柄があり、議場でやり取りのよくなる一幕もあり、議事となった。



地方議員の面積カルトグラム

▼首長の使命と 行政の協働

丸になっているという。の自給に違わぬチーズ作りの盛況ぶりだが、フロマージュKOMAGATAは、その元祖だ。80歳の駒形氏は、包み隠さず氏のノウハウを伝授して今日のように発展したという。また、週末の恒例である「港の朝市」の会場を視察した。これは、里地里海の地元観光の目玉となっている。いすみ市は、梨や米、蛸や伊勢海エビの産地でもある。

市長・副市長も、3名の課長も揃って語るものは、農業・化学肥料不使用のいすみ産コシヒカリ「いすみっこ」であった。優良なものを地元の小学校の子供たちに伝えるため、市内の学校給食米には全量、「いすみっこ」を採用しているという。このコシヒカリは、JALのファーストクラスの機内食にも採用された経緯があるという。有機無農薬農業は、生物多様性との連動で、コウノトリの生息に向けて市民が一

▼地方議員の行政視察

その後の現場視察では、市内のチーズ工房フロマージュKOMAGATAを訪ねた。現在いすみ市にはチーズ工房が4力所もある。チーズの生息に向けて市民が一丸になっているという。の自給に違わぬチーズ作りの盛況ぶりだが、フロマージュKOMAGATAは、その元祖だ。80歳の駒形氏は、包み隠さず氏のノウハウを伝授して今日のように発展したという。また、週末の恒例である「港の朝市」の会場を視察した。これは、里地里海の地元観光の目玉となっている。いすみ市は、梨や米、蛸や伊勢海エビの産地でもある。

市長・副市長も、3名の課長も揃って語るものは、農業・化学肥料不使用のいすみ産コシヒカリ「いすみっこ」であった。優良なものを地元の小学校の子供たちに伝えるため、市内の学校給食米には全量、「いすみっこ」を採用しているという。このコシヒカリは、JALのファーストクラスの機内食にも採用された経緯があるという。有機無農薬農業は、生物多様性との連動で、コウノトリの生息に向けて市民が一

▼地方議員の行政視察

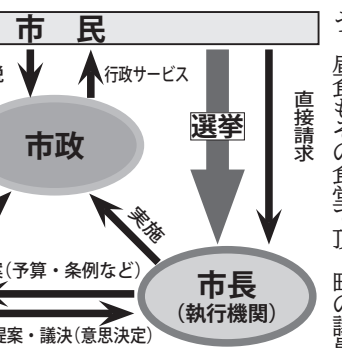
の適切な行政サービスの執行や改善のために条例や規則の制定に向けた提言を行う役割もある。今回の川西町議会の視察団は正副議長も居り、その活動を行っているようであるが、地方議員の中には、あまり、この面の使命や活動を担えていない議員も多いと聞く。ここで地方自治の担い手としての地方議会（都道府県、市、町、村議会）の議員定数を都道府県単位でのカルトグラムを作成した。これから、議員数は、都市部では膨らんでおり多く、北海道・東北、日本海側など地方の県では細まっており少ないことが分かる。逆に言う、議員のパワーは、少なくとも数を背景にした発言力と言う意味では都市部で強く、地方で弱いと言える。

いすみ市での議員の活動の様子は今回の行事からは知ることが出来なかったが、市長と役所は一体になり、時代に適合した、あるいは時代を先取りした行政活動を、明快に行っているように思えた。市長と課長や課員との関係が、極めて円滑であることに由来するよう

▼地方議員の行政視察

この演説は戦時下に行われたが、民主主義の原点をこの演説に読み取ることが出来る。が、日常の暮らしや政治に、その原点が活かされているかには、疑問を持つことがある。

この演説は戦時下に行われたが、民主主義の原点をこの演説に読み取ることが出来る。が、日常の暮らしや政治に、その原点が活かされているかには、疑問を持つことがある。



その後の現場視察では、市内のチーズ工房フロマージュKOMAGATAを訪ねた。現在いすみ市にはチーズ工房が4力所もある。チーズの生息に向けて市民が一丸になっているという。の自給に違わぬチーズ作りの盛況ぶりだが、フロマージュKOMAGATAは、その元祖だ。80歳の駒形氏は、包み隠さず氏のノウハウを伝授して今日のように発展したという。また、週末の恒例である「港の朝市」の会場を視察した。これは、里地里海の地元観光の目玉となっている。いすみ市は、梨や米、蛸や伊勢海エビの産地でもある。

市長・副市長も、3名の課長も揃って語るものは、農業・化学肥料不使用のいすみ産コシヒカリ「いすみっこ」であった。優良なものを地元の小学校の子供たちに伝えるため、市内の学校給食米には全量、「いすみっこ」を採用しているという。このコシヒカリは、JALのファーストクラスの機内食にも採用された経緯があるという。有機無農薬農業は、生物多様性との連動で、コウノトリの生息に向けて市民が一

の適切な行政サービスの執行や改善のために条例や規則の制定に向けた提言を行う役割もある。今回の川西町議会の視察団は正副議長も居り、その活動を行っているようであるが、地方議員の中には、あまり、この面の使命や活動を担えていない議員も多いと聞く。ここで地方自治の担い手としての地方議会（都道府県、市、町、村議会）の議員定数を都道府県単位でのカルトグラムを作成した。これから、議員数は、都市部では膨らんでおり多く、北海道・東北、日本海側など地方の県では細まっており少ないことが分かる。逆に言う、議員のパワーは、少なくとも数を背景にした発言力と言う意味では都市部で強く、地方で弱いと言える。

いすみ市での議員の活動の様子は今回の行事からは知ることが出来なかったが、市長と役所は一体になり、時代に適合した、あるいは時代を先取りした行政活動を、明快に行っているように思えた。市長と課長や課員との関係が、極めて円滑であることに由来するよう

そんなおり、11月中旬、山形県川西町の4名の町会議員の行政研修を、筆者の住む千葉県いすみ市に迎えた。山形県の里山の川西町から、里

の適切な行政サービスの執行や改善のために条例や規則の制定に向けた提言を行う役割もある。今回の川西町議会の視察団は正副議長も居り、その活動を行っているようであるが、地方議員の中には、あまり、この面の使命や活動を担えていない議員も多いと聞く。ここで地方自治の担い手としての地方議会（都道府県、市、町、村議会）の議員定数を都道府県単位でのカルトグラムを作成した。これから、議員数は、都市部では膨らんでおり多く、北海道・東北、日本海側など地方の県では細まっており少ないことが分かる。逆に言う、議員のパワーは、少なくとも数を背景にした発言力と言う意味では都市部で強く、地方で弱いと言える。

いすみ市での議員の活動の様子は今回の行事からは知ることが出来なかったが、市長と役所は一体になり、時代に適合した、あるいは時代を先取りした行政活動を、明快に行っているように思えた。市長と課長や課員との関係が、極めて円滑であることに由来するよう